



HAND in HAND

はんど・いん・はんど

【母親のストレス】

■専業主婦を持つ片働き家庭の夫は1日平均どのくらいの時間を家事に費すか。「うーん、何分って単位じゃないですか」と問われた人はたいてい答えます。そう、7分です。では共働き家庭の夫は？「30分くらいかしら」と多くの女性たち。残念でした。30分もしてくれればいいけれど、なんとたったの8分。1分しか違いがない!! これじゃあ、働く女性は疲れますよねえ。そのうえ子どもがいるとどうなるか。労働省産業医学総合研究所の調査によると、働く独身女性が食事の準備や掃除、洗濯など家事にかかる時間は1日33分、子どものいる男性は2.5分。そして働く女性で子どものいる人は1時間35分という結果が出ています。(私、もっと多いなあ)

■そのうえストレスに対処するホルモンの分泌量など生理学の面からみても、子どものいる働く女性のストレスはかなり高いことが判明したとか。男女雇用機会均等法が改正され、募集採用や配置昇進などで男女差別が禁止されることになったと同時に、労働基準法の女子保護規定が撤廃されます。時間外労働は150時間まで、深夜業は限られた職種だけだったのが、どちらも解除されるわけです。年間1800時間の実労働を目標にしながらも、まだ平均して1919時間も1年間労働をしている我が国では(労働側のデータでは平均2000時間をこえています)、これではますます男女共、労働時間が増える危険があります。深夜労働や残業を拒否したら、職場にいづらくなることもでてくるでしょう。その時、主たる生計保持者のひとり親家庭の母はどうすればいいのか。疲労とストレスは高まり、子どもとゆったりつきあう時間も失われます。夫のいる家庭でも、夫も妻も疲れていれば家庭崩壊は進むでしょう。男性の家事時間を増やし、男女共、働く時間を減らす努力をすることはできないのでしょうか。(円より子)

海を渡る鳥は、波間を漂う流木に憩うという。離婚—それは旅の半ばの一つの出来事。新たな旅立ちをした女たちはいま手を取りあい、女であるがゆえの偏見と差別に向きあう。ハンド・イン・ハンドは生きやすい社会をめざし、支えあう女たちの流木である。

175

第175号 600円 禁無断転載

【発行日】1997年7月1日

【発行所】現代家族問題研究所

【連絡先】〒150 東京都渋谷区

神宮前6-34-3-201

TEL & FAX 03-5512-2738

【発行・編集人】円より子

【スタッフ】向井通江 星野美子

【印刷】(株)日出島

ハナコ族の主婦症候群

離婚110番利用者に見る30代女性の結婚観

●30代の世代が増えてきた

1979年に離婚講座を始めたが、当時20代の離婚率が52.2%（1975年）で、若年離婚が当り前であった時に、講座の受講者の平均年齢は、その年39歳で、その高さに驚いたものです。翌年はさらに上がって40代に入り、その数年後、我が国の離婚統計でも30代がトップとなり、また40代が大幅に増えた。そうした数字や相談内容を見てみると、離婚講座は現実の離婚の実態より、現象の現れ方が早いようです。

こうした中で、講座、110番の利用者は高齢社会、また子育て後の人生の長さ等を反映し、ずっと40代、50代が増え続けていたのですが、3年前から、受講者の平均年齢が下がり始めました。つまり、20代、30代が目立ってきたのです。

そして今回、今年の1月～4月の離婚110番利用者を集計分析

したところ、30代の増大が顕著に見られました（1992年41.7%から48.6%へ）。

●40、50代は期待しなくなった？

40代、50代、60代は激減しています。この理由は何なのか。有配偶者の多い団塊の世代は今、40代後半、50を目前にしています。相談件数、離婚件数の高年齢化はある意味で、この世代が支えてきたと言っていいでしょう。

妻たちの40代後半は、子どもがちょうど大学生。教育コストの掛かる時です。経済的には離婚どころではないのでしょうか。それにあと数年もすれば末の子どもも社会人となり、子どもへの親役割はほとんど終了します。それまでの我慢ということもあるし、物理的には子どもに手が掛からず、可処分時間は十分あり、パートやボランティア、自分の能力のブラッシュアップに時間をとることができるためなのか、夫婦の関係性や結婚

離婚110番相談カルテ（1997年1月～4月）集計結果

相談件数 226件（内 当事者女性190件・男性22件、第三者女性9件、男性5件）

調査対象 当事者のうちの初回相談女性（未婚2件を除く）140件

居住地

都道府県名	件数	%
東京都	43	30.71
区内	19	13.57
都下	5	3.57
不明	19	13.57
神奈川県	25	17.86
埼玉県	13	9.29
千葉県	7	5.00
愛知県	4	2.86
大阪府	4	2.86
栃木県	3	2.14
長野県	3	2.14
三重県	3	2.14
長崎県	3	2.14
青森県	2	1.43
群馬県	2	1.43
静岡県	2	1.43
京都府	2	1.43
兵庫県	2	1.43
山口県	2	1.43
熊本県	2	1.43
その他	14	10.00
不明	4	2.86
総数	140	100.00

①都内30.7%、②神奈川県17.9%、③埼玉県9.3%と続く。全国31都道府県から掛かってきて、シンガポールからも掛かってきている。

年齢

年代	件数	%
20代	29	20.71
30代	68	48.57
40代	32	22.86
50代	5	3.57
60代	0	0.00
70代以上	0	0.00
不明	6	4.29
総数	140	100.00

30代が48.6%（前回41.7%）と圧倒的に多い。次いで40代が22.9%（25.2%）、20代が20.7%（17.4%）、50代3.6%（8.4%）と続く。30代が増えている、また50代、60代が前回10.2%だったのが、今回は60代以上はゼロで、50代も減少した。

職業

職種	件数	%
有職	38	27.14
パート	19	13.57
無職	77	55.00
不明	6	4.29
総数	140	100.00

無職が前回（40.0%）より増加し、55.0%と半数を越えている。有職率はパートを含めても40.7%と前回（44.1%）より低くなっている。

に対する不満をわざわざ110番にぶつけては来なくなったのかも知れませんが。結婚に対して期待しなくなったと言えなくもない。

40代、50代で講座、110番を利用する人々の「離婚を考える理由」をみると、従来から多く近年さらに増えているのが、「夫の浮気」。期待しなくなったといっても、夫の浮気には無関心でいられず、今後の人生を考えるきっかけとなるのでしょう。

それに比べ、30代の相談カルテからは、「こんなはずではなかった」という結婚への失望、子どもへの幻滅、そして夫への不満が渦巻いているのです。

●30代女性の大きな不満

今の30代は1957年、1966年生まれ。日本が急激に高度経済成長していくのと共に成長した世代。TV、冷蔵庫、洗濯機等、家電も家庭に普及、「夫は外へ、妻は内へ」の性別役割分業の下、父親の経済力と専業主婦の母親のケアによって何不自由なく育てられた世代。高校進学率も義務教育並みになり、短大、大学への進学率も急激に高まり、教育の場でも、家庭でもほとんど「男女」の

区別なく育ってきました。さらに1986年の男女雇用均等法施行により、職場にも「総合職」ができました。また、いろいろなメディアからのファッション、音楽、スポーツ、レジャー等、情報が溢れ、一つ前の世代と比べ、進学にしろ、仕事にしろ、余暇にしろ、自分のしたいことを自由に選択し、できるようになった世代です。

1988年「Hana」が創刊されましたが、就職して数年経ち、キャリアも積んで、経済的に少し余裕の出た20代後半の女性をターゲットに、その世代にあったファッション、グルメ、音楽、レジャー等を紹介、ちやうどバブルで潤ったOLに受け、「ハナコ族」という流行語まで生まれました。

経済力もあるので、結婚による家事、育児等の煩わしさから、晩婚化も進みました。「三高」という言葉もできましたが、夫への要求や平等意識は高く、結婚生活での家事育児の分担は当り前、また結婚しても仕事や余暇等、結婚前と同じようにしたいと思っている世代です。

ところが、結婚してしばらくす

別居年数

年数	件数	%
半年未満	42	59.15
1年未満	12	16.90
1～5年未満	14	19.72
5～10年未満	0	0.00
10～15年未満	0	0.00
15年以上	0	0.00
不明	3	4.23
総数	71	100.00

結婚年数

年数	件数	%
1年未満	3	2.14
1～5年未満	36	25.71
5～10年未満	33	23.57
10～15年未満	24	17.14
15～20年未満	14	10.00
20～25年未満	9	6.43
25～30年未満	5	3.57
30年以上	4	2.86
不明	12	8.57
総数	140	100.00

結婚年数は、①5年未満27.9%（前回23.0%）、②5～10年未満23.6%（22.1%）、③10～15年未満17.1%（15.4%）、④20年以上12.9%（17.1%）と、前回と比べ、年齢が低いせいか短くなっている。

現在の状態1

状態	件数	%
初婚	128	91.43
離婚	6	4.29
再婚	6	4.29
不明	0	0.00
総数	140	100.00

子どもの有無

子の有無	件数	%
有	103	73.57
1人	48	34.29
2人	41	29.29
3人	11	7.86
4人	2	1.43
妊娠中	1	0.71
不明	1	0.71
無	33	23.57
不明	3	2.14
総数	140	100.00

子ども有りは、年齢や結婚年数が低いためか73.6%で、前回83.6%や「男のための離婚110番」96.3%と比べ低い。

現在の状態2

状態	件数	%
同居	53	37.86
別居	71	50.71
離婚	6	4.29
単身赴任	4	2.86
家庭内別居	3	2.14
その他	0	0.00
不明	3	2.14
総数	140	100.00

現在の状態3

状態	件数	%
調停中	28	20.00
裁判中	1	0.71
調停不調	6	4.29
調停終了	2	1.43
無	99	70.71
その他	0	0.00
不明	4	2.86
総数	140	100.00

同居中40.0%、別居中53.6%、と別居中がかなり多くなっている。調停については、調停中は20.0%、調停不調4.3%、調停終了1.4%と、別居中、調停中共に多いことから、状況が切迫していることが伺える。

ると、夫は30代半ばで仕事が忙しくなり、家事はしなくなる。子どもが産まれても育児も手伝わない。1人目の時は何とか仕事を続けられましたが、2人目が生まれ、退職。毎日狭い住居の中で、独身時代は母親に任せてきた慣れない家事と戸惑うばかりの育児に追われ、自分のしたいことができず、欲求不満は募るばかり。帰ってきて「疲れた」と話も聞いてくれない、手伝いもしない夫。喫茶店でホッとする一人の時間も、友人と会う時間もありません。「公園デビュー」に象徴されるように、子どもと母親を取り巻くネットワークも不自由そのもの。結婚前の自由な生活と比べて、「こんなはずじゃなかった」「何で私だけが」となる条件は揃っています。

女性の意識と独身時代の環境は変化したものの、主婦と育児中の母親を取り巻く社会状況や、主婦と母親への役割期待は、余り変わっていないからです。そうした中で窒息しそうになっている30代女性の閉塞的な状況が、離婚110番に垣間見えたと言っても、過言ではないかも知れません。

どちらが家を出たか

出た方	件数	%
夫	31	43.66
妻	36	50.70
双方	0	0.00
不明	4	5.63
総数	71	100.00

どちらが離婚を言い出したか

	件数	%
夫	43	30.71
妻	56	40.00
双方	3	2.14
その他	1	0.71
離婚話無	25	17.86
不明	12	8.57
総数	140	100.00

具体的な相談内容は①法律・手続きについて知りたい68.6%、②経済的不安32.9%、③子どもについて25.0%、④住居について12.9%。これは、離婚講座の女性参加者が離婚を考えるときの障害の①生活力64.7%、②子ども48.8%③住居39.7%と対応している。

相談内容（複数回答）

回答	件数	%
ただ何となく鬱屈した思いを吐き出したい	22	15.71
離婚すべきか思い悩んでいる	28	20.00
離婚を言い出されて困っている	33	23.57
離婚したいが配偶者が同意しない	30	21.43
離婚にお互い同意、条件について話し合い中	38	27.14
離婚したが、悩みや問題がある	5	3.57
その他	9	6.43
不明	0	0.00

①離婚にお互い同意、条件について話し合い中27.1%、②離婚を言い出されて困っている23.6%、③離婚したいが配偶者が同意しない21.4%、④離婚すべきか思い悩んでいる20.0%、⑤何となく鬱屈した思いを吐き出したい15.7%と続く。①と③を合わせ妻に離婚の意思があるとみると48.6%で、前回(41.7%)と比べ増えている。「夫から言い出されて困っている」が(前回12.2%)増えている。

相談内容2（複数回答）

回答	件数	%
経済的な不安	46	32.86
子どもについて	35	25.00
住居について	18	12.86
夫との関係について	10	7.14
異性、再婚	1	0.71
法律、手続きその他について知りたい	96	68.57
1)調停、裁判、弁護士等	32	22.86
2)財産分与	33	23.57
3)慰謝料	13	9.29
4)親権、養育費	26	18.57
5)面接交渉	4	2.86
6)婚費分担	11	7.86
7)夫を説得したい	2	1.43
8)その他法律手続き	32	22.86
その他	21	15.00
無回答	9	6.43

離婚を考える原因（複数回答）

回答	件数	%
価値観、人生目標が違う	42	30.00
夫の経済力のなさ経済観念の違い	25	17.86
夫が家庭をかえりみない	25	17.86
夫の不貞	50	35.71
妻の不貞	7	5.00
夫のアル中、酒乱	5	3.57
夫の暴力	21	15.00
子どもをめぐる対立	0	0.00
親兄弟との折り合いが悪い	25	17.86
相性が悪い	9	6.43
性的不一致	14	10.00
夫の性格	38	27.14
夫のギャンブル癖	10	7.14
妻が働くことへの無理解、非協力的態度	4	2.86
夫の精神障害	4	2.86
妻の精神障害	2	1.43
夫が両親と親離れ子離れできていない	4	2.86
原因が本人は分らない	6	4.29
その他	23	16.43
無回答	8	5.71

①夫の不貞35.7%（前回33.3%）、②価値観、人生目標が違う30.0%（28.2%）、③夫の性格27.1%、④夫の経済力のなさ、経済観念の違い17.9%（11.8%）、夫が家庭をかえりみない17.9%（9.0%）、親兄弟との折り合いが悪い17.9%（11.0%）、⑤夫の暴力15.0%（12.5%）となっている。夫の暴力は順位は下がったが、割合は高くなっている。割合が全体的に高くなっているが、バブルが崩壊等、家族を取り巻く社会的状況が変化したため、離婚を考える原因も複雑化し、複数回答が増えたためと言える。

家計簿公開



第110回 北海道 Mさん

〔家族構成〕

私 32歳（事務員）

長男 5歳（保育園児）

〔住居〕

賃貸アパート（1K）

★

約1年間の別居の後、平成8年8月末に調停離婚しました。原因はいろいろありますが、主に夫の私や子どもに対する暴力です。

現在は息子と二人でのびのびと、自分らしく生活しています。経済的にはかなりきつい状態ですが、何とかとなると力をくくっています。

先月まではパートだったので、収入はかなり少ないです。今月からは正社員となり、収入もわずかですが増えましたが、日給月給で休むと引かれてしまい、トータルすると、それ程変わらないように思います。

昨年の10月に、子どもが喘息のため、何かあったらすぐ病院へ走れるようにと、3年ローンで車を買いましたが、意に反して病院へ

は通院以外で使うことはありません。もっぱらストレス解消のために活躍しています。

家計簿は、かなり大雑把なものです。家賃、車のローン、光熱費、食費等は毎月だいたい決まっていますが、電話代その他の娯楽費、衣料費等は残った分でやりくりしています。

北海道という所は、他から見るとかなり物価の安い所だそうで、住みやすい所ではあります（その分賃金も全国的に一番安い所でもあるらしいのですが）。最近では母子家庭も珍しいことではなく、昔のように肩身の狭い思いをすることもなく、勝手気ままな毎日を送っています。多分私は、周りの人間に恵まれているんでしょね。

本音を言えば、収入は多いに越したことはなく、欲を言えばキリがありませんが、どんなに幸せそうな人でも不満はつきもの。「もっと〇〇だったらいいなあ」と思いながら、頑張っていると思うています。

現在、生命保険は一つも入っていないので、近い内に入りたいと思っていますところなのですが、皆さんはどうしているんでしょうね。

家計簿内訳 (1997年5月分)

〔収入〕

給与	80,000円
養育費	30,000円
児童扶養手当	40,000円
計	150,000円

〔支出〕

家賃（水道費込）	33,000円
車ローン	23,600円
食費	35,000円
光熱費	9,000円
ガソリン代	5,000円
電話代	5,000円
新聞、娯楽費、雑費	39,400円
計	150,000円

家計から言うと、なかなかキツイのですが、やはり自分に万が一のことがあったらと思うと、子どもがいるだけに考えてしまいます。きっと、子どもが大きくなっていくこれからの方が大変なのだろうと思っていますが、あの耐え続けた結婚生活を思えば、何とかかなるかなあと思っています。あの頃より落ちることはないだろうと思っていますのですが、とにかく節約したり、自分の頑張り一つでどうにかなるんだと思うと、それが結構励みになったりしています。子どもには、我慢させることが多くて、かわいそうかなあと思うこともありますが…。

別居、離婚してからの息子は、とても落ち着いていた様子で、喘息の発作（入院する程の発作）は、一度もなく、毎日元気に過ごしています。今にして思えば、喘息の発作の原因は、ストレス等の精神的なものが原因だったのではと思っています。

保育園では、初めのうちはなかなか馴染めなかったようですが、1か月もすると毎日張り切って登園するようになり、今年は、風邪で休むことも少なくなり、とても助かっています。

これからは、親子二人、健康には十分気を付けてやっていく、ただそれだけです。

資格を取って新しい人生と出会った女性

この仕事で生きていく…自信と将来への夢

(文責・)

離婚した女性にとって「働いて稼ぐ」ことは最大の課題でしょう。離婚後も仕事や生活の場を変えずにすんだ人は少ないはず。

生活環境が変わって相談できる人がいない、離婚したら職場に居づらくなった、子どもが小さくて働けない。…そんな不安や悩みごとを乗り越えた女性がいます。彼女たちは離婚をきっかけに資格を取って技術を身につけ、離婚のマイナス面をプラスに変えることに成功しました。そして苦しかった時間を、新しい人生へのジャンプ台にすることができたのです。今回は大阪市と神戸市に住む3人の女性を紹介します。

さん(39歳)の場合

離婚から建築家として起業
いつかは女のための家を作りたい
子ども3人(大1と高2の娘、中3の息子)

私が資格を取り始めたのは、まだ主婦の頃、少しでも率のいいパートがしたいと思ったからです。

まず、宅地建物取扱主任者の学校に半年通って、平成元年に合格。

平成2年に当時の仕事先の関係でCAD一般製図免許を取得。それから、また学校に1年8か月通い、平成3年に2級建築士の国家試験にパスしました。平成4年、市の公募で大型クレインと大型特殊免許を取得するためのコースに参加して、これも取得。

「なぜこんな資格を取ったのか」と良く聞かれますが、建設会社で働いていましたし、土木関係の仕事に興味があったからです。

平成3年に夫が単身赴任になり、その次の年の暮れに、夫の浮気が発覚。お正月になっても神戸に戻らないままでした。

離婚調停は2年もかかり、財産分与、慰謝料、養育費を決めました。「3人の子どもの将来を考えれば、裁判にした方がいい」というアドバイスを受けたものの、どうしたらいいか途方に暮れました。ところが夫の浮気相手から私が

訴えられたのです。「訴えたいのはこちらなのに…」という理不尽な気持ちでバネに最高裁まで持ち込み、平成7年に勝訴。

追いつめられて1キロずつ体が痩せていくのがわかり、1日に7キロも痩せた日もありました。

この時期を乗り越えられたのは友人たちのお陰です。会社の元同僚が仕事を作ってくれて、一軒家を建てたのを始めに、設計、施工、現場監督、何でもこなして駆け回りました。どんどん仕事をして順風満帆になったかと思った矢先に阪神大震災。水汲みが一番大事な仕事になりました。

今年、地震で全壊した跡地を友人の母親から借りて建築事務所をオープン。会社を大きくして、将来は自分自身のために「女の家」を作りたいと思っています。辛い経

さん



験をしたお陰で人の気持ちがわかります。女性のための場所、ユーティリアを作るのが私の夢です。

私は自分の思ったことは必ず実行します。やりたいと決めた以上、時間が掛かってもやり通したいと思っています。

※CAD = computer-aided design コンピューターによる構造物の設計。

さん(仮名・34歳の場合)
安定している公務員だから子どもや自分の生活を大切にできます
子ども2人(中1の息子、小5の娘)

20歳の時に結婚しました。すぐに子どもができて、ずっと専業主婦。働きに出たことは一度もありませんでした。離婚を決めてから内職を始め、別居のための費用を作りました。

大阪に出て、下の子を保育所に入れて働きましたが、仕事はパートでした。上の子の学童保育の保護者会で学校の栄養士をやっている人と知り合って、どうすればいいのか聞いたら、「学校の職員はあんまり採らないよ。最近入った人も採用されるまで5年掛かった」という話。

それでも気になって、市役所の教職員課に電話をして聞いたら、運良く秋に試験があり、翌年の春に小学校の給食調理員に採用されました。公務員の現業職という資格です。アルバイトで入ってから試験を受け、職員に採用されるケースもあるそうです。

同じ現業職には学校の管理作業員や、保育園で調理や清掃を担当する家政作業員という仕事があります。保育所関係の仕事なら、民生局で聞けばわかると思います。

公務員ですから、休みや待遇は役所と同じです。転勤もありますが、残業はありません。夏休みや冬休みにも掃除や研修で出勤します。

本給は中卒程度が基本で、それに年齢給が加算されます。扶養手当や住宅補助、ボーナスも年2回出ます。60歳の定年まで勤めれば、退職金や年金もつきます。

給食調理員という仕事の内容は、とにかく重労働です。30キロ以上のじゃがいもが入ったカゴを二人で運んだり、500人分の揚げ物を1時間掛かって揚げ続けたり、夏は暑いし、冬は冷える給食室で、体をこわす人もいます。女性ばかりで男性に出会わない職場環境も独

特です。辛くて、「後何日で休みだ」と思う時もあります。

けれども、身分が安定していること、決まった給料がもらえる喜びは大きいものです。お母さんがどんな仕事をしているのかを子どもたちが良く知っているのもいいことだと思っています。子どもを育てながら仕事をしていくには、公務員は最適の仕事だと思っています。

さん(42歳)の場合

鍼灸師は年齢を重ねるほど信頼される一生ものの技術です。

子ども2人(小1と0歳の息子)妊娠中から夫の暴力は始まりました。私と前夫は共通の友達が多かったので、誰にも相談できずに我慢しました。前夫の地元でしたから、評判を落とすようなことをしたら、前夫の将来にもマイナスだろうと考えました。もう1年、もう1年頑張ってみようと思っていたうちに、4年も経っていました。

前夫とは、32歳で入学した仙台市の鍼灸専門学校で出会い、在学中に結婚。卒業すると前夫は勤めに出て、私は自宅で開業しました。長男を出産したのも同時でした。

その鍼灸院がやっと軌道に乗って収入も伸びてきたところでの離

婚です。ちょうど「母と子」や「老人」のための「操体法(運動療法)」等の講演依頼も増えてきて、やり甲斐も十分なときでした。

けれども、一からやり直すなら少しでも若くてパワーのあるうちがいい。それに子どもが小学校へ入るまでに地盤固めを終えたい。そんな気持ちであつさりと思いついた鍼灸院をたたんで、実家のある大阪に戻ったのです。

大阪は生まれ育った場所。でもすぐには仕事にはなりません。開業して1年、広告を出すお金もなく、ご飯が食べられない日が続きました。ガリガリに痩せて、とことんお金がなくなったら実家に頼んで凌いでいました。

そんな時でも「とにかく、人のつながりを作らなくてはいけない」と思い、外に出て人に会うことに努めました。いろいろな講座やサークルに顔を出して、少しずつ以前の自分のやり方や、力を取り戻していききました。

そうした中で参加した鍼灸の研究会で出会った人と再婚。今年の1月には次男が誕生しました。出産後1、2か月は育児に専念しましたが、すぐに子どもを連れて出

歩いています。

夫には「子どもがもう少し大きくなるまで待てないのか」と言われますが、「今じゃなきゃできないこともある」と反論しています。

現在の夫は公務員から鍼灸師になった変わり種。一緒に仕事をしていてトラブルも多いけれど、とことん話し合える人なのです。

鍼灸師は人生のあらゆる経験が活かせる仕事。しかも年齢を重ねるほど信頼される仕事です。私にとっても50歳を過ぎてからが、本当の仕事になるかな。それまでもっともっと多くのことに挑戦したいと思っています。

※資格情報 はり師、きゅう師共に厚生大臣認可の免許。年1回国家試験が。専門学校で3年以上の修学が受験資格。武田さんは仙台の専門学校に夜間通学。学費は現在大阪では400万円位(3年間)。



さん

民法改正案を提出！

昨年の2月26日に法制審議会より民法改正案要綱が法務大臣に答申されましたが、閣議（内閣の大臣による会議。法案等について国会に上程するかどうか審議する）決定されず、国会に上程されないまま今国会を迎えたのは、皆さんもご存知だと思います。

法案は省庁から出される他、議員が法案を作成し、所定の賛成者（参議院は通常10人以上の議員）と共に提出する議員立法もあります。

円より子は、新進党の人権部長を務め、部会で党として民法改正案を提出することを決め、2月末から参議院の法制局と作業を進め、法案を作成しました。

法制審議会の要綱では、①選択的夫婦別姓制の導入②非嫡出子と嫡出子の相続差別の撤廃③「5年別居」離婚条項の導入の3つが盛り込まれていました。

①②については、長い間多くの女性たちが待ち望んでいた改正であり、憲法の基本理念である個人の尊厳、法の下での平等、両性の本質的平等から考えても、また国際人権規約、女子差別撤廃条約、子ども

の権利条約等国際規約上からも早急に改正が求められています。

けれども離婚の「5年別居」条項の導入に関しては、別居中の扶養料や離婚に伴う子の監護や財産分与についての整備は不十分であり、労働における男女の格差や保育所や住宅政策の不備から、離婚後の母子が困窮するのは必至です。そこで、円より子はその整備に

ついて検討してきましたが、時間が掛かり今国会提出に間に合わないため、法制審の要綱から離婚の部分を外して、法案を作成しました。

6月6日（金）に発議者（提案者）円より子他3名、賛成者15名の平成会（新進党、公明党で構成）有志で参議院事務総長へ提出。

残念ながら、審議されないまま廃案となりましたが、今後超党派で協力し、次期臨時国会でも法案を提出し、国会で議論を巻き起こし、成立を目指すつもりです。



Q 長男が髄膜炎の後遺症で知的障害が残り、私は長男のりハビリのため長年勤めた役所を退職しました。価値観が違いすぎる夫との間がぎくしゃくしだして、どうにもならないほど心が離れ、昨年3月から別居中です。

調停中ですが、夫は私が悪いのだから、財産分与はしない、養育費も4万円しか払わない。次男の親権者は夫だと主張し、調停がまとまりそうにありません。不調になった後の対処の仕方、障害児や女性問題に理解のある弁護士を選び方、裁判の費用等教えて下さい。

A

離婚調停が不成立に終わるそうでも、離婚したいと思うなら裁判をするのが普通です。お手紙から察するところでは、離婚には合意できている様子ですの

で、次男の親権者さへ合意できるなら、先に離婚だけして、財産分与と養育費は後日審判で決めるということも考えられますが、親権者が決まらない以上離婚はできません。

離婚原因がもう一つはつきりしませんが、たとえあなたが有責であったとしても、夫の言われる「妻が悪いから財産分与はしない」という

理屈は成り立ちません。婚姻中に形成した共有財産の精算、離婚後の扶養としての財産分与は離婚の原因には関係ないからです。

障害児問題に取り組んでいる弁護士の中から選びたければ、そのような運動団体や地域の弁護士会に紹介してもらう等の方法がありますが、要は相性が合うかどうかですから、まず相談をしてみても確かめるのがいいと思います。相談料だけだと初回であれば30分5000円です。

弁護士110番

弁護士費用がなければ最寄りの法律扶助協会で弁護士費用の立替をして弁護士をつけてくれます。立替分は償還免除の制度もあり、扶助協会を通した方が、直接依頼するより低廉な弁護士費用ですみます。大阪弁護士会の規定では離婚訴訟の着手金・報酬は共に30～60万円が基本で、財産分与、慰謝料を請求するときはその金額によって加算される場合がありますが、規定だけ見ても幅がありますので、依頼する前に費用の見通しをきちんと聞いておくことです。

弁護士 竹川 幸子
06-1393-11331

ハンド・イン・ハンドは、みなさんがつくる雑誌です。

みなさんの日常考えていることや、生活の匂いが伝わって

くるような、そんなハンド・イン・ハンドでありたいと

思います。お便りをどんどんお寄せください。

■心の支えになりそうです

T・O (兵庫・49歳)

円さんの本でハンドの会を知り、入会。派遣会社に登録しています

が、中耳炎の手術後、少し難聴気味で腰痛や腱鞘炎もあり、何より

も夫からの精神的虐待で、対人関係が苦手になったこともあって、な

かなか思うように仕事ができず、月に数回といったところです。

今離婚に向けて水面下で準備しているところです。2、3人弁護士

士にも会いましたが、「生活に困るからといって、離婚しないで、ご

主人のお金で生活するということ

は、今の言葉で言うところの「逆セクハラ」になるとか、「僕は、結婚した

以上は添い遂げなければならぬ」という主義なので」とか言われたりして、なかなか心情を分かって

は頂けませんでした。

兄弟や友達も「離婚を決心した後

の実行的な行動」に対するアドバイスが、全くありませんでした。「今さ

ら」とか「生活に困るよ」とか、中途半端に終わります。心配して言

ってこれているのでしょうか。

この会は何かの折りに心の支え

になりそうな気がします。宜しくお願ひします。

■強くたくましく生きています

(東京・37歳)

女性の離婚問題には、本当に女性

性の問題がいろいろ詰まっていますね。女性が強くなったのではな

く、つまらない意味のない我慢をしないだけではとて思えてきました。

娘、息子にとっても、母親が我慢

をしているのはとても辛いことです。今の世の中、女性が子ども

を食わせられるだけの収入を得るのには本当に大変ですが、いろい

ろ活動をしながら頑張っています。子どもにも広い視野を持って欲しい

と思います。子どもと共に、強くたくましく生きています。

■おかしな国ですよ、日本

K・S (東京・?歳)

ハンドに入ってから半年。昨年の6

月に別居し、子どもについて調停中です。事実婚なので離婚届の問

題はありません。

周りが「元の鞘」に収まるのが

私のためにベストだと信じて動く

ので、それとの戦いがひと山あり

ました。調停に入ってから、調

停委員と調査官の3人を相手に戦

います。子どもの利益も何も関係

なく、威圧して丸めこもうとする

姿勢に、ただただあきれ果てました。

調査がやっと始まりますが、こ

の先幾山越えなくてはならないの

か、体力と気力がもつかしらと、さ

すがに疲れてきました。何かおか

しな国ですよ、日本。

■将来の生活が不安です

T・M (京都・45歳)

夫の精神的虐待がひどく、2、3

か月カウンセリングを受けました。

今は実家へ戻り、精神的疲労を癒

し、回復してきています。

両親とも高齢なので、いつまで

も頼ってられないと思います。

2歳上の兄(独身)がいますが、若

い頃から働く意欲もなく、安定し

た仕事をしようとしません。また、

昔から私へのいじめもひどく、こ

んな頼りない兄と将来生きていく

ことにも不安があります。

夫とも別居中で話し合いはこれ

からですが、慰謝料等ももらえな

い。将来の生活が不安です。

■もっと女も自由でいいはず

(青森・?歳)

現在別居中です。夫の不貞が原

因で、すぐにでも別れたいと狂っ

ていた時期もありました。周りの

誰もが、その位我慢しなさいとい

うようなことを私に言いましたが、

納得できず、周りに迷惑をかけた

こともありました。

元々男女平等主義者で、結婚以

来いろいろなことを共同でやろう

と実践してきたつもりです。です

からいろいろな意味で、不倫は許

せないと思うてきました。

実際に不倫された妻の立場にな

ると、言われるものですね。「奥さ

んがそんなに追いつめるから、彼

だってそうなるんじゃないです

か？」なんてね。

離婚を考える理由は千差万別だ

と思いますが、同じような考えを

お持ちの方や、同じような立場の

方といろいろな意見を交えてみた

いと思っています。もっともっと

女も自由でいいはず。

ある辞書に載っていました。「フ

エミニズム」——女性尊重論、女権

拡張論、男女同権主義。「フェミニ

スト」——女性尊重論者、女に甘い

男。いつか正しい意味だけが辞書

に載ることを祈り、私なりに頑張るつもりです。

■養育費の一部留保に踏み切りました

O・W (東京・?歳)

以前再婚した元妻と子どもへの心配についてお便りしましたが、異変があったようです。転校する小学校名は聞いていたので、実家へ戻っているように思えます。養育費は郵便小為替で送金してきましたが、新住所を教えてほしいと実家に郵便を送り、連絡がなければ彼女の銀行口座に振り込む、一定期限までに連絡がなければ支払いを留保することを伝えました。

すぐに「実家宛に郵便を送るな」と抗議の留守電が。銀行口座を指定してきました。子どもの住所と電話番号を確認しておくことは、子どもの成長について離別親と養育親とが誠意をもって協力し合う離婚に伴う和解内容の一部。ための担保として必要不可欠なことだと考えています。こちらから連絡が取れない状態には納得がいきません。乱暴かも知れませんが養育費の4分の1を留保して振込をすることに。子どもの安全を確認するために養育費を法務局へ供託することはできるのでしょ

養育親にとって元配偶者は「金員」でしかないのかも知れませんが、子ども以上に元配偶者との関係に悩むことが多いこともあることを皆さんに知ってほしいと思います。

お電話・お便り下さい

■お便りお待ちしております。

M・A (福岡・?歳)

1年半前から別居中で3歳になる娘と二人で生活しています。

夫は医師で別居の際、生活費の取り決めに証書の形でしていたので、精神的苦痛は大きかったものの、物質的には十分満足な生活をさせてもらっていました。

これから離婚の話し合いに入りますが、今まで十分払ってきたので、養育費、慰謝料は一切払わないの一点張りです。とても不安な日々を送っています。離婚の原因は夫の不貞、暴力です。

同じ様な境遇の方、または離婚された方でいろいろアドバイス頂けたらと思っています。お近くの方はお友達になりましょう。お便りお待ちしております。

※M・Aさんへの手紙は表記事務所向井まで。転送します。

■裁判中の方お手紙下さい

Y・T (群馬・34歳)

170号、171号に載せて頂いた群馬のY・Tです。

3月に東京高裁の判決が下り、夫の控訴は棄却され、一審通り「離婚。親権者は私」ということになりました。夫は最高裁でも争うと以前から言っていたので、娘のことを話し合うことができず、幼稚園の園長と先生方を説得して夫の了解なしに娘を引き取りました。

夫が上告し、最高裁で争っています。弁護士によるとこの裁判は棄却されるだろうということ、ただそれが決まるまでに、手続だけでも半年位掛かるということです。

娘が小学校に入学し、友達もでき、落ち着いてきた4月末、夫が学校から娘を連れ去ってしまい、5月の連休明けに、夫の居住地の学校に転校させてしまいました。

夫は2年前、裁判を取り下げさせるために、娘を保育園から連れ去った人なので、私の居住地の学校に入学させたのはうかつだったと、自分の甘さにあきれています。

また、私の居住地の教育委員長も全てを知っているが簡単に転校手続を取ったのにも腹が立ちます。

★ハンド夏合宿のお知らせ

恒例の夏合宿が決まりました。

テーマは2つ。「離婚後の親と子」(円より子)と「家庭内暴力」(原田恵理子氏・婦人相談所勤務)です。奮ってご応募下さい。▼日程

8月16日、17日(土日) ▼場所 国立婦人教育会館(埼玉県) ▼定員 大人30名、幼児(学齢前) 20名 ▼参加費 大人4000円、幼児2500円。食費、交通費各自負担。▼申込 申込金1000円を添え、住所、電話番号、参加者氏名、生年月日、年齢を明記し、事務局橋本まで。8月1日必着。申込金は返却できません。

相手の教育委員長には、「殴られるのはあなたに落ち度があるからだろう。相手が話し合いを持とうとしないのは、あなたの誠意が足りないからだ」と頭ごなしに言われました。負けずには思っていることを伝えたら、わかってもらえましたが、最終的な判決が出るか、話し合いが成立しない限り、転校手続は取れないと言われました。

子どものことを考える気持ちには夫より私の方が強いと思います。きちんと考える私が、今こういう生活をしていて、いつも自分勝手

に行動している夫が、娘と一緒に暮らしている理不尽さ。本当に悲しく、悔しいです。子の引渡仮処分申立をして、私に「仮に引き渡せ」と審判が下りました。間接強制執行の申立もしていますが、夫が応じる気配はありません。

別居して4年。当時一緒に悩んでいた人は皆、自分なりの生活を築いていて、私一人取り残されたようで焦りも感じています。裁判中の方、離婚したいがなかなかうまくいかない方、お手紙下さい。※Y・Tさんへの手紙は表記事務所向井まで。転送します。

■お友達になつて下さい

(東京・?歳)
別居して半年、離婚して2か月。ハンドに入会して3か月、お陰でだいぶ元気を取り戻し、今は2歳の娘と明るく生活しています。

しかし、ここまで来るにはいろいろと悩み、苦しみ、自分を見失い、時には感情をコントロールできず、娘をたたいてしまつて、自己嫌悪に陥ったり。何の罪もない娘に辛い思いをさせてしまったのだと、胸が痛くなります。

これからは娘のためにも、私の新しい人生のためにも、強く、前

向きに生きていこうと思います。

実家も遠く、近くに頼れる親戚もいません。育児のこと、これまで経験して思ったことなどいろいろとお話を聞きたいです。また一緒に公園や動物園に行ったりできればと思います。お友達になつて下さい。連絡お待ちしております。

■心からの友達になりたいです

(埼玉・32歳)

夫にこれといった理由もなく、一方的に離婚を言い渡されました。

実家は北海道と遠く、近くに知り合いもなく一人で泣いています。子どもも小学1年と幼稚園の娘がいて、仕事もなかなか見つからず、悩んでいます。今家庭内離婚状態で、夫は来月にでも出ていこうとしているみたいです。これからの生活のことを考えたりして、精神的にも疲れてきました。

友人に話してもそういう経験がないのか、「早くそんな人と別れたら」と言われたり。一人で悩んでいた時、ハンドを知りました。

一緒に悩んだり、アドバイスをしてもらったり、心からの友達になりたいです。近くの方も、遠く

の方もお便りお待ちしております。

■ご連絡お待ちしております。

M・S (東京・30歳)

4月に別居を始めました。1歳7か月になる娘も新しい生活に慣れ、元気に育ってくれています。早く離婚したいのですが、なかなか思うようには進んでくれません。

私の実家は徳島で遠く、心強い友達がたくさんできるといいなと思っています。子連れで会ってお話できる方、連絡を取り合える方、また平日は銀座で働いていすので、ランチをという方もぜひご連絡下さい。お待ちしております。

※M・Sさんへの手紙は表記事務

所向井まで。転送します。

■お便りお待ちしております。

S・O (栃木・31歳)

離婚して4年、5歳の息子と二人で暮らしています。今まで生活するに精一杯でしたが、いろいろなお話ができるお友達がほしいと思っています。

近くの方はお会いしておしゃべりしませんか？ 遠くの方はお手紙でお話ししましょう。お便りお待ちしております。

※S・Oさんへの手紙は表記事務所向井まで。転送します。

174号の
さんの住所
が間違っていました。正しくは干

《お世話係》

- ★仙台
- ★福島
- ★北陸
- ★埼玉
- ★群馬
- ★愛知
- ★滋賀
- ★大阪
- ★大阪
- ★神戸
- ★岡山
- ★広島
- ★香川
- ★四国
- ★福岡
- ★福岡
- ★熊本
- ★大分
- ★宮崎



第193・194回 ニコニコ離婚講座

（7月）7月6日（日）午後1時～4時半。飯田橋セントラルプラザ5階（JR飯田橋駅下車徒歩）で。堤江美氏の「女性と起業」、金住典子弁護士との「離婚の法律と手続き」。

（8月）8月8日（金）午後6時半～8時50分。東京ウイメンズプラザ（青山こどもの城裏）第2会議室で。円より子の「女性の生活力」と金住典子弁護士。

いずれも参加費2000円。申込は留守電か事務所へ連絡を。

☎03-5551212738（事）
☎03-32611835（留）

★東京の会合

▼7月26日（土）午後6時～9時、東京ウイメンズプラザ視聴覚A室で開催。

▼8月は合宿でお休みです。

★ワークショップについて

前号で国立婦人教育会館主催の「女性学・ジェンダー研究フォーラム」でハンドの会でワークショップを行うと掲載しましたが、教育会館より「応募が大変多く、昨年参加したグループにはご遠慮頂く」ことになったと回答があり、残念ですが参加できなくなりました。来年は必ず参加し、ネットワークを広げていきたいと思っています。

大阪のニコニコ離婚講座

（7月）7月19日（土）午後1時半～4時半、ドーンセンター（大阪府立女性総合センター）で。奥村宏子氏（母子相談員）の「母子福祉について」相談現場の事例から。

（8月）合宿のためお休みです。

（9月）9月6日（土）午後1時半～4時半、ドーンセンターで。いずれも参加費1500円。

★大阪の例会

7月26日（土）午後1時半～4時半
竹川幸子法律事務所。

☎06-39311331

★埼玉の会合

▼7月27日（日）午前10時、宅に集合。「わくわくどくむ」の屋

内温水プールで、ウォーキングしましょう。水着、帽子各自持参。昼食費1000円位。

▼8月31日（日） 宅でハンド176号発送。都合のつく方お手伝いお願いします。

いずれも詳細は「まで」。

☆離婚一〇番

日時、番号をよく確認して下さい。

（電話番号）

☎03（3261）1835
☎03（3261）1836

（日時）

▼第1、第3、第5土曜日の午後5時～8時▼第2、第4土曜日の午後2時～5時

★購読料について

次の3通りの方法があります。

- ①1年間3600円（送料共）
- ②2年間まとめて前払いの場合、7200円を6000円に。
- ③出社払いもしくは免除

どうしても苦しい方は、いつでも遠慮なく申し出て下さい。

期限切れの通知の入った時に、お振りこみ下さい。

（振込先）各地の郵便局にて

00140061120542

ハンド・イン・ハンドの会

■事務局便り■

★昨年の暮、前夫と話す機会があったので「息子に会ったら？」と提案。「会います」と返事をしたくせにその後はのりくらり。相変らずの優柔不断さに、別れて12年。やっぱり前夫の心の成長は望めず！と再再確認した私です。

（橋本）

★電話カウンセラー養成講座基礎コースを6月7日に開講。読売、日経新聞に載った為、264名もの問合せが。そこで急遽2クラスを編成。これから2年間勉強して頂く訳ですが、「ジェンダーの視点」「人間理解」を身につけていって下さればと思います。（向井）

★脳死を人の死と法で定義することに疑問を持っていたので、衆議院で中山案が通った後、すぐさま希望して、参議院本会議場で反対質問を行い、また臓器移植特別委員会委員にもなりました。労働委員会委員でもないのに、そちらにも入って均等法の質問を作ったりと、自ら買っての大忙しの数か月でした。娘の運動会にも行っちゃれず、体重も減りました。眠い！

（田）